

□議員名：杉本 保喜

1 防災体制について

論点	「29年度山陽小野田市防災訓練」実施後の総合防災訓練検討委員会における総括結果とその改善状況等を聞く。
回答	訓練終了後、訓練参加者から意見・気づき等を提出させ、総括的結果を庁内にフィードバックした。改善点に優先度を付け今年度に生かしたい。また、協定事業所との連絡等を含む部分訓練も考えたい。

論点	避難所の開設及び運営の現状と対策はどうか。
回答	開設は、避難所管理責任者に指示し、直ちに派遣している。派遣困難な状況を考え、近傍の自治会長等に開設を委嘱することは、未だ具現化していない。避難所マニュアルは、避難所ごとに作成し、有効活用したい。外国人に対する避難所での対応は、出来ていない。

論点	「防災危機管理監」の配置が組織図に明記されたが、その職務分掌及び要員の獲得をどのように計画していくのか。また、実働の時期はいつか。
回答	防災における専門監として昨年4月から配置したところだが、現在は空席となっている。安易に公募するのではなく、任用の体系やその期間等他市の状況を見て4月にちゃんとした体制をとっていきたい。

2 観光・交流の振興について

論点	シティセールス推進指針の作成において、現状分析をどのように行ったのか。
回答	基本計画の施策カルテ等について観光交流に関するそれぞれの施策展開を調べているが、これらについては、観光振興ビジョンの中で検討し、実証していく。

論点	本推進指針にある「3本の柱」の力の配分をどのように考えているのか。
----	-----------------------------------

回答	いずれも重要である。具体的なものは、これから詰めていく。スマイルプランナーについては、市民に限らず市外から好意的な目を持っている方等を含むと考えている。はっきりした詳細はこれからである。
----	---

論点	市民の「シビックプライド」の現状をどのように捉えているか。
回答	市民に対する現状は、把握していないが、観光ガイドやイベントの開催、美化活動等に主体的に関わっている方々等多くの方が「シビックプライド」を持っていると考えている。

論点	「観光振興ビジョン」「観光アクションプラン」の進行分析及び問題点はどのように把握しているのか。
回答	①観光ボランティアの育成、②ビジターセンターの設置、③おもてなしサポーター、④市内観光振興プロジェクト会議の状況についての質問であるが、①は関係団体と話し合いたい。②はコンサルタントからの結果を受けて協議する。③は広く募集を行う等見直しを行う。④は必要に応じて関係部局が随時調整を行っている。